

2015年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2015年11月5日
日本軽金属ホールディングス株式会社

目次

1. 2015年度 第2四半期決算
2. 2015年度 連結業績予想
3. ~トピックス~
異次元の素材メーカーへ

1. 2015年度 第2四半期決算

第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	増減
売上高	2,297	2,028	+269 (+13.2%)
営業利益	125	80	+45 (+56.7%)
経常利益	111	82	+29 (+36.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	68	58	+10 (+17.3%)

セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	増減	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	574	543	+31 (+5.7%)	51	32	+19 (+61.7%)
板、押出製品	539	382	+157 (+41.1%)	15	15	0 (△1.7%)
加工製品、 関連事業	688	643	+45 (+6.9%)	42	31	+11 (+35.4%)
箔、粉末製品	496	460	+36 (+7.8%)	31	15	+16 (+108.7%)
管理・共通	—	—	—	△14	△13	△1
合 計	2,297	2,028	+269 (+13.2%)	125	80	+45 (+56.7%)

主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

	2015年度第2四半期			2014年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	685	19	40	653	8	30
東洋アルミニウム (連結)	498	31	29	463	14	15
日軽エムシーアルミ (連結)	312	11	9	272	6	5
日本フルハーフ (連結)	294	12	11	273	12	12
日軽金アクト (連結)	225	9	9	188	9	9

2. 2015年度 連結業績予想

通期業績予想 — 前期比

(億円)

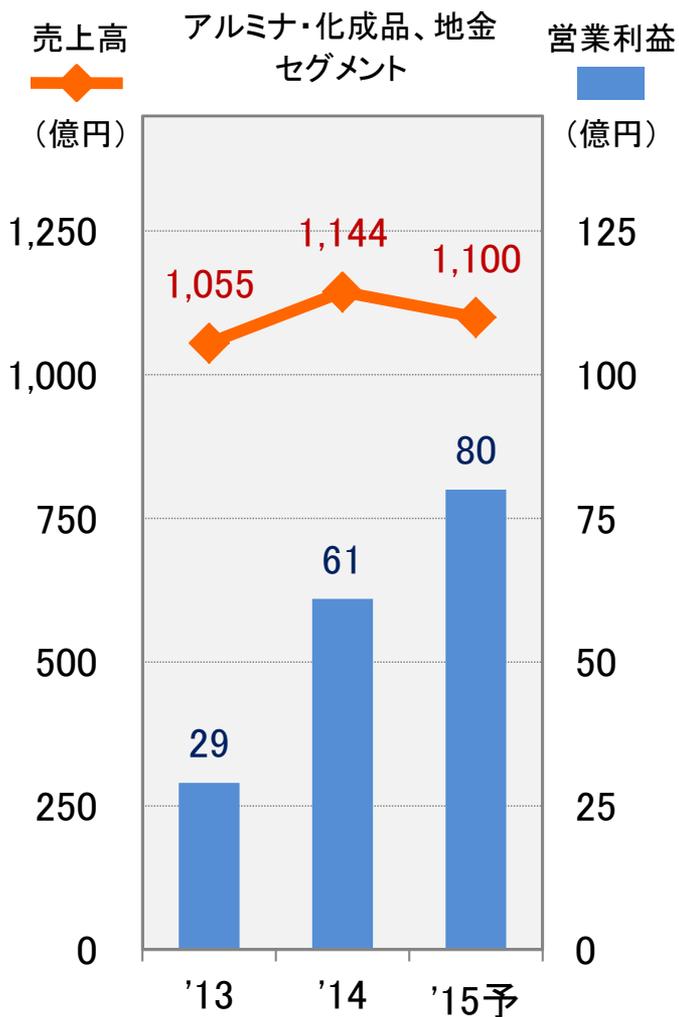
	2015年度 予想 (10/30)	2014年度 実績	増減
売上高	4,550	4,315	+235 (+5.5%)
営業利益	240	193	+47 (+24.3%)
経常利益	220	206	+14 (+6.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	130	96	+34 (+34.8%)
有利子負債	1,880	1,890	△10
ネットD/Eレシオ	1.2倍	1.3倍	△0.1p

セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年度 予想 (10/30)	2014年度 実績	増減	2015年度 予想 (10/30)	2014年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,100	1,144	△44 (△3.8%)	80	61	+19 (+31.8%)
板、押出製品	1,050	828	+222 (+26.8%)	40	42	△2 (△5.4%)
加工製品、 関連事業	1,410	1,381	+29 (+2.1%)	90	77	+13 (+16.8%)
箔、粉末製品	990	962	+28 (+2.9%)	60	42	+18 (+43.4%)
管理・共通	—	—	—	△30	△29	△1
合 計	4,550	4,315	+235 (+5.5%)	240	193	+47 (+24.3%)

アルミナ・化成品、地金



アルミナ・化成品

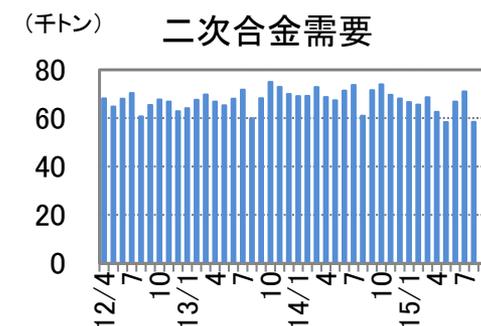
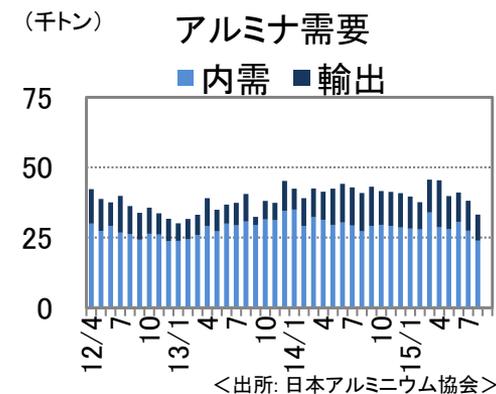
- 価格改定、コストダウンなどにより収益改善
- 営業力、開発力の強化により高付加価値品の新規需要取り込む

日軽エムシーアルミ

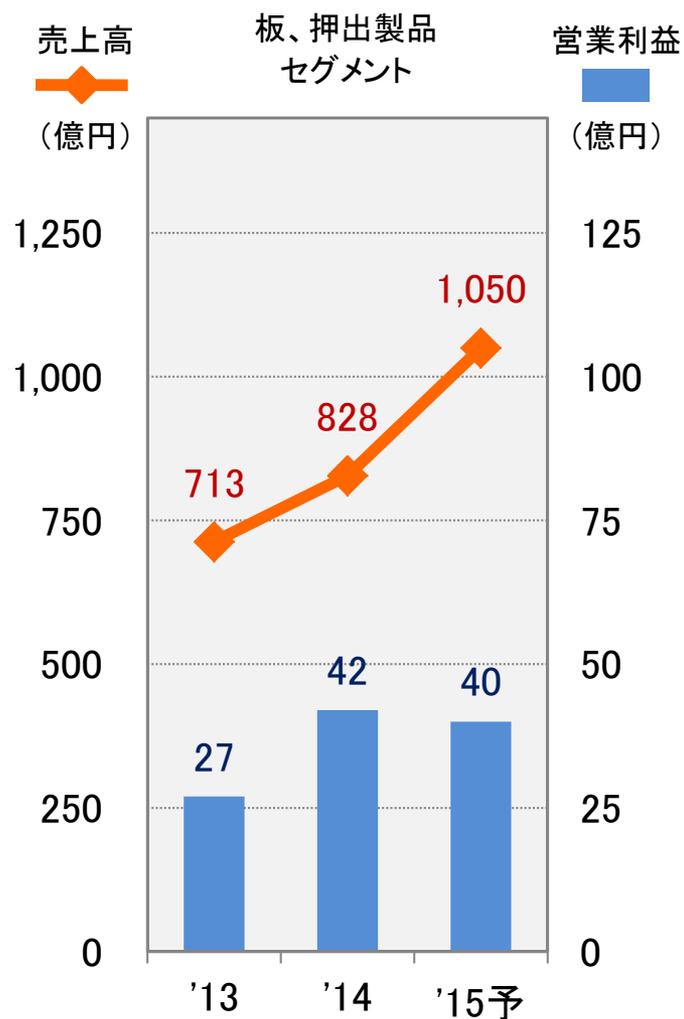
- 海外は、タイを中心に販売量増加
- 中国では、非自動車分野においても開発合金の販売が始まる
- 国内販売では利益率が改善
- 新しい開発合金の販売も始まる

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	15年度 上期			15年度 下期			15年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	66.0	67.9	△3%	68.3	69.3	△1%	134.3	137.2	△2%
海外	61.8	52.8	+17%	59.8	59.9	0%	121.6	112.7	+8%
合計	127.8	120.7	+6%	128.1	129.2	△1%	255.9	249.9	+2%



板、押出製品



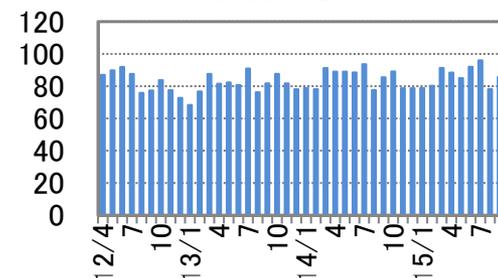
板

- 厚板、電機・電子向け、箔向けの販売量が堅調
- 加工費値上げを実施
- 地金価格の下落が収益を圧迫

板事業部販売量 (千トン)

	15年度 上期			15年度 下期			15年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		40.7	40.6	0%	43.4	41.1	+6%	84.1	81.7

(千トン) 板製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

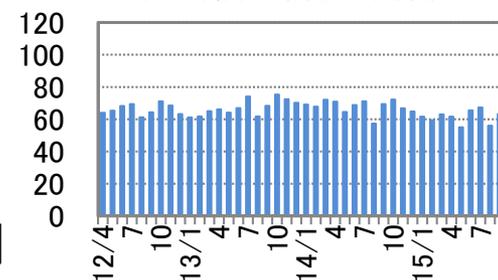
日軽金アクト

- 国内では、トラック向けを中心に輸送関連の好調が続く
- 加工費値上げを実施
- 中国の自動車・鉄道部品加工が好調

日軽金アクト販売量 (千トン)

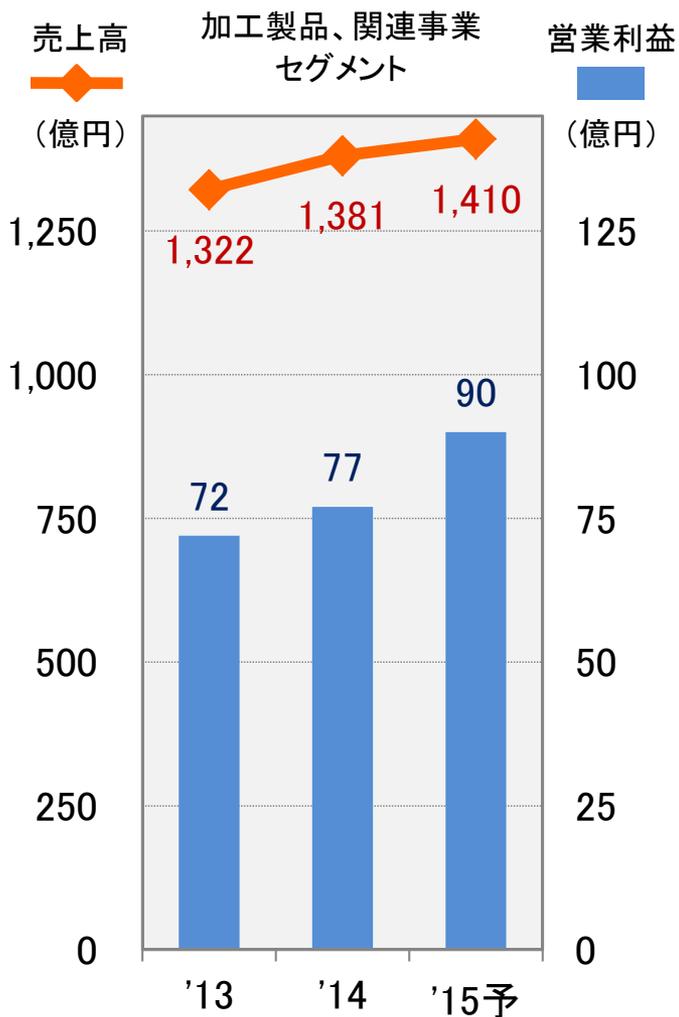
	15年度 上期			15年度 下期			15年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
		19.4	19.8	△2%	20.7	20.3	+2%	40.1	40.1

(千トン) 押出製品需要(内需)



<出所: 日本アルミニウム協会>

加工製品、関連事業



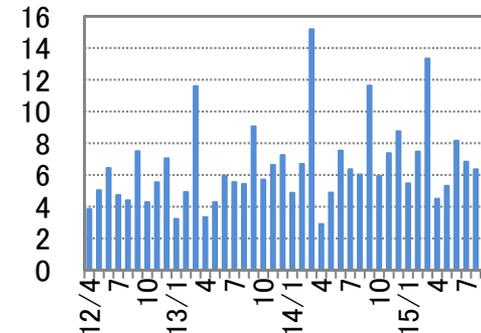
日本フルハーフ

- 国内では、景気回復基調を受け、企業の投資意欲が改善、トラック需要は堅調が続く
- 生産性向上のため、主力の厚木工場のリニューアルに着手

日軽パネルシステム

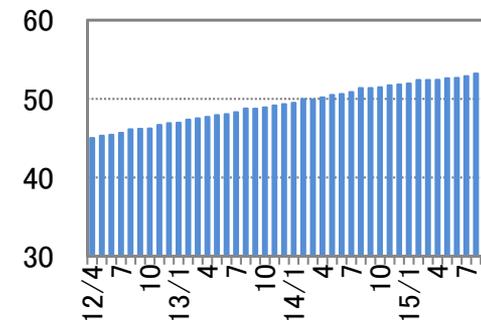
- 食品工場、低温流通設備への投資が活発、好調が続く
- 新製品のノンフロン断熱不燃パネル「ジェネスタ」が豊洲市場で採用決定
- 半導体・液晶用向け、医療・バイオ向けのクリーンルーム分野が増加
- 耐震天井などの新事業の拡充を図る

(千台) 普通トラック登録台数



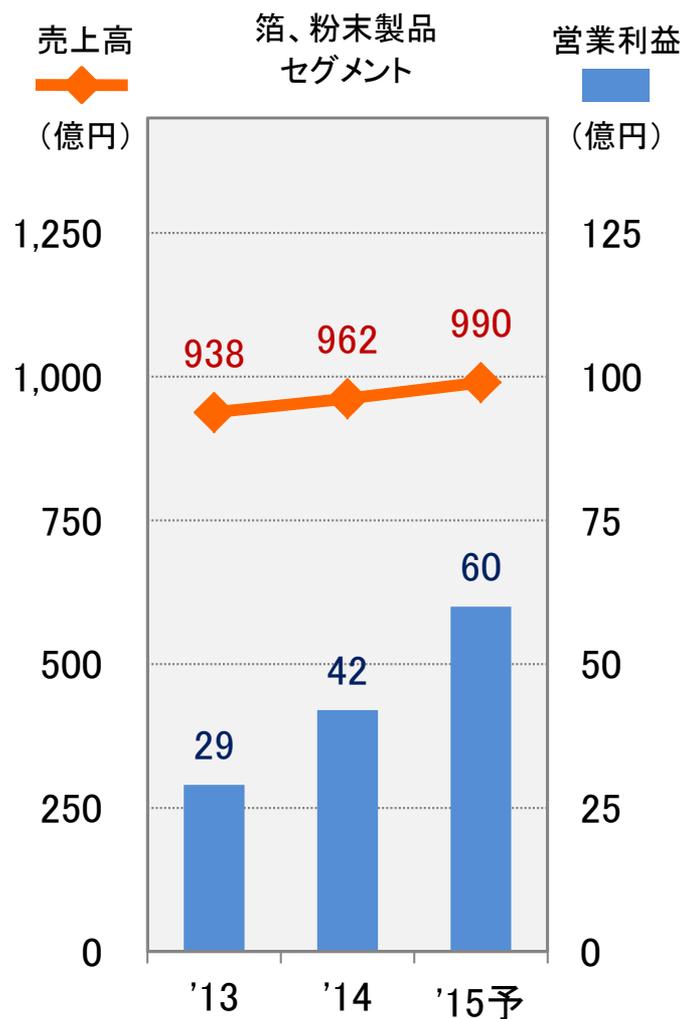
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(千店) コンビニ店舗数



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

- リチウムイオン電池外装用箔、医薬品向け加工箔やトータルロータス（撥水性加工箔）が好調を維持
- トータルパス（貫通孔箔）、粉末積層箔、トータルロータスの拡販

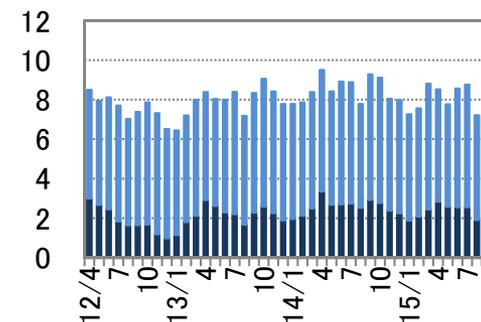
<パウダー・ペースト事業>

- 自動車向けを中心に水性塗料用着色アルミ顔料を拡販

<ソーラー事業>

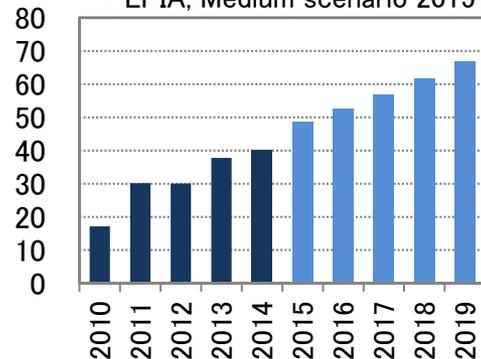
- 太陽電池関連市場の拡大続く
- 新規顧客獲得によりバックシート売上が増加
- 電極インキはPERC型パネル対応の新製品を投入、事業強化

(千トン) 箔製品需要
■ コンデンサ箔 ■ その他の箔



<出所: 日本アルミニウム協会>

(GW) 太陽電池需要予測
- EPIA, Medium scenario 2015-

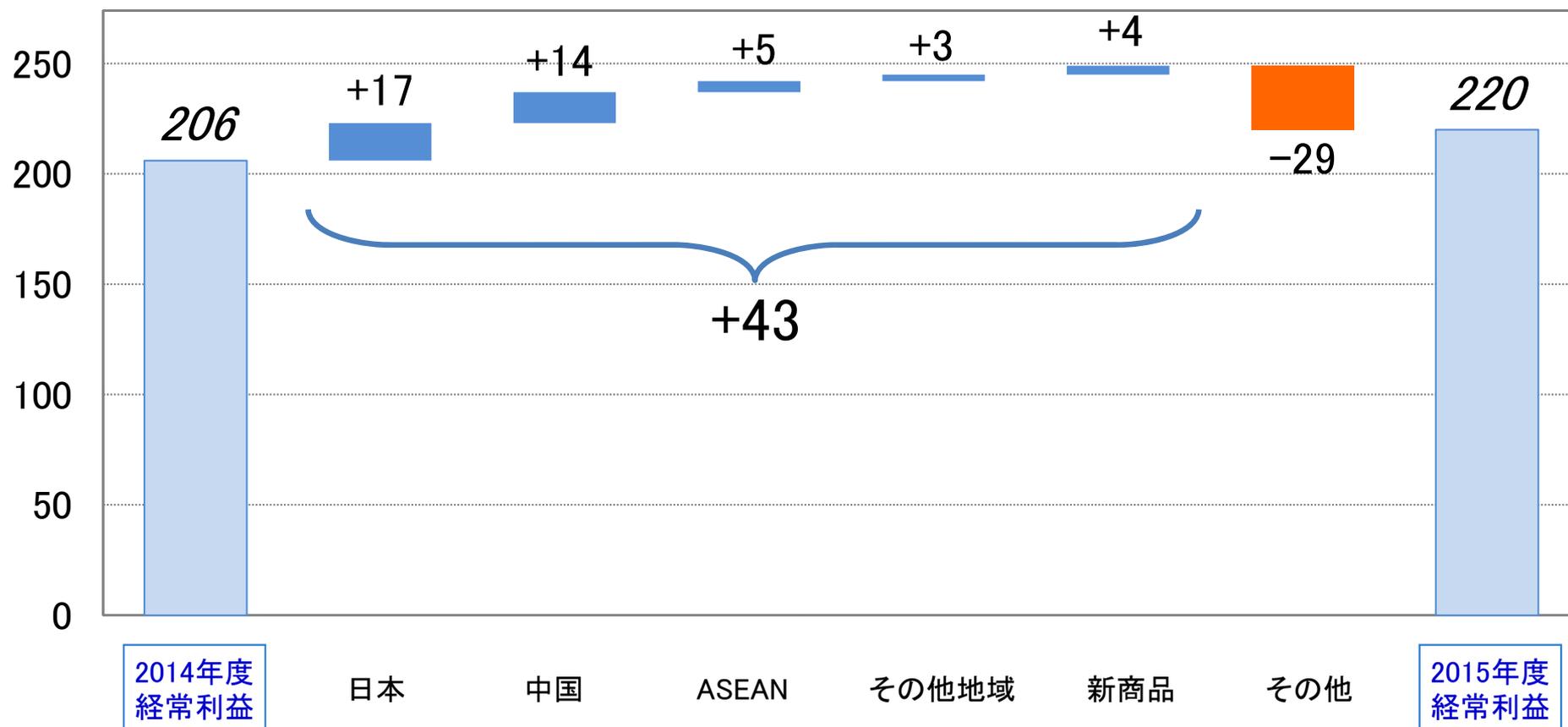


<出所: European Photovoltaic Industry Association>

経常利益変化要因 - 前期比

2014年度 +206億円 ⇒ 2015年度 +220億円 14億円増加

(億円)



3. ~トピックス~ 異次元の素材メーカーへ

私たちが目指す「異次元の素材メーカー」とは

素材に対する経営技術的優位性をベースとして有し、
素材だけにとどまらず、お客様に最高の解を提供するため、
量の論理ではなく、知恵の集積により企業活動をする

従来とは全く違う発想・価値基準を持つ
全く新しいタイプの素材メーカー

新しい競争環境を創造

私たちが歩んできた道

オイルショック以来、日本軽金属グループはその生存をかけ、
様々な試行錯誤を経ながら戦ってきた

特に近年、アルミ総合メーカーの強みを生かすべく、
事業横断的ビジネス活動「横串」コンセプトを導入し、

アルミにこだわり、アルミを超えてゆく

アルミとアルミ関連素材の用途開発を永遠に続ける

というスローガンのもと、しっかりした基盤の構築とともに成長軌道に乗った

私たちはアルミメジャーの動きとは一線を画し、

チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

というスローガンで、この動きの集大成を行う

チーム日軽金として「異次元の素材メーカー」へ

1. アルミに関する広範な事業領域と技術習熟
2. ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営
(縦串・横串のマトリクス組織)
3. 日本企業特有の「おもいやり」文化 (きめ細かいニーズ探索力と対応力)
を強みとし、

「単純な素材メーカー」ではなく、
お客様の顕在的・潜在的「欲しい」を満足する
複合的でかつお客様に「喜び」を与える商品
を作ることにより、成長を続ける企業体

= お客様に信頼され、選んでいただける企業体

日本軽金属グループの強み

アルミナ・化成品
地金事業

板、押出製品事業

加工製品、関連事業

箔、粉末製品事業

圧延技術

押出技術

鋳造技術

粉体技術

溶湯処理技術

高純度化技術

化学反応制御技術

素材の可能性を探求するイノベーション

塗装・防食技術

機械加工技術

表面処理技術

接合技術

ダイス・
金型設計製造技術

断熱・冷凍技術

貼り合わせ
成型・印刷技術

性能ニーズを満たす加工技術のイノベーション

評価・解析

シミュレーション

プロセス設計

品質保証

生産管理

高付加価値製品を生む解析・設計・生産技術のイノベーション

お客様とともに市場競争力のある付加価値の
高い商品・サービスを目指します

日本軽金属グループの新商品(例)

素材技術
(素材の可能性を探求)

加工技術
(性能ニーズを満たす)

設計技術・サービス
(高付加価値へ)

アルミ十多彩な付加価値

ジアソー5水塩



Neutron Absorber
MAXUS
Aluminum Matrix Composite
MAXUS-W



NA700材



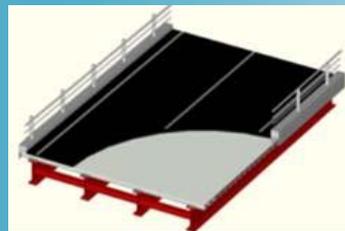
フレックスキャスター



アルソル
アルソルメガ



道路橋床版



トータルロータス®



耐震天井



水冷デバイス



二重床



超超ジュラルミンを超えるNA700

2社連携開発

日本軽金属

合金技術

日軽金ア外

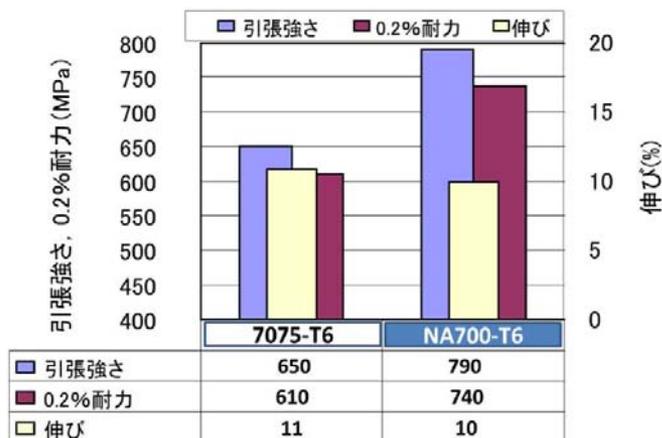
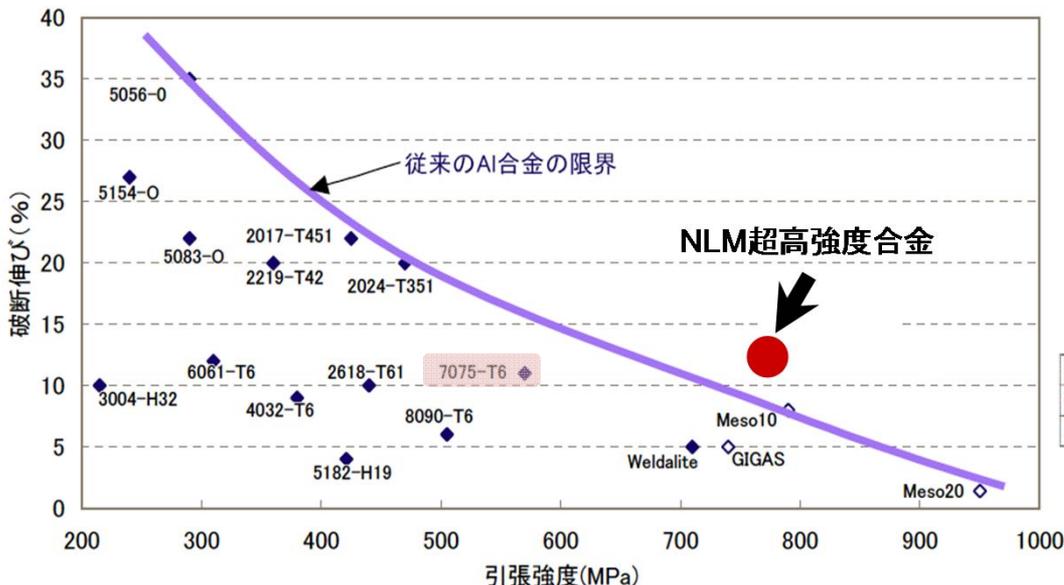
押出技術

※超超ジュラルミン:A7075-T6

引張強さ800MPaクラスの 7000系アルミ合金

◇特長

- ・7075合金より約20%UPの超高強度で延性は7075同等
- ・高強度によりさらなる軽量化に対応



NA700材の部品
製品への応用例





®

(中性子吸収材)

日本軽金属

化成品事業部

アル・素形材事業部

板事業部

セラミックス技術

合金開発力

圧延技術

東洋アルミニウム

素材製造技術

日軽金ア外

製品製造・品証

中性子吸収機能を有する アルミ板

断面構造



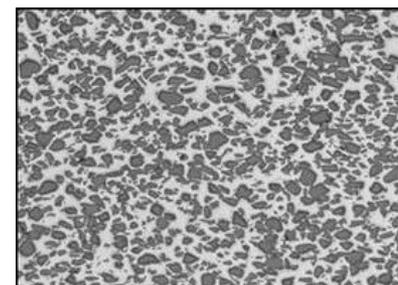
← スキン : A5052 (Al-Mg)

← コア

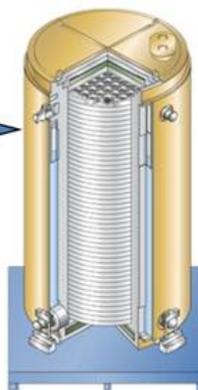
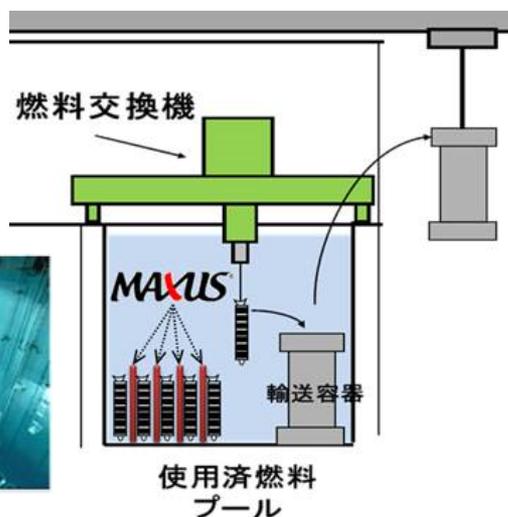
← スキン : A5052 (Al-Mg)



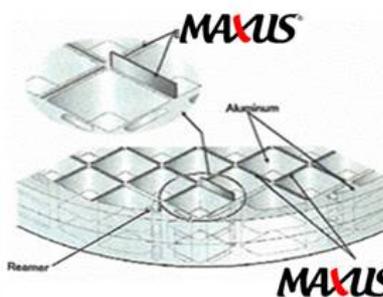
使用済燃料の輸送・貯蔵容器部材に使用



55%B₄C断面拡大写真



キャスク(使用済燃料の輸送・貯蔵容器)



フレックスキャスター

2社連携開発

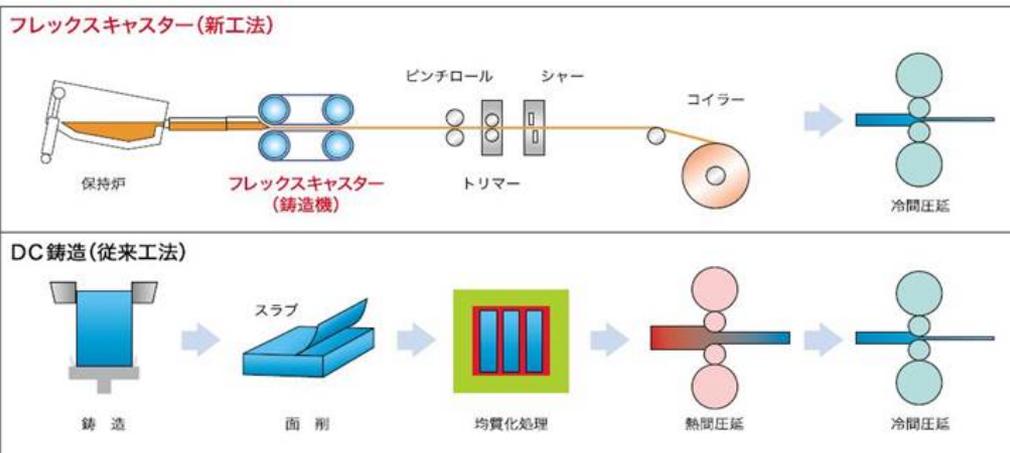
日本軽金属

鋳造技術・素材製造技術

東洋アルミニウム

箔加工技術

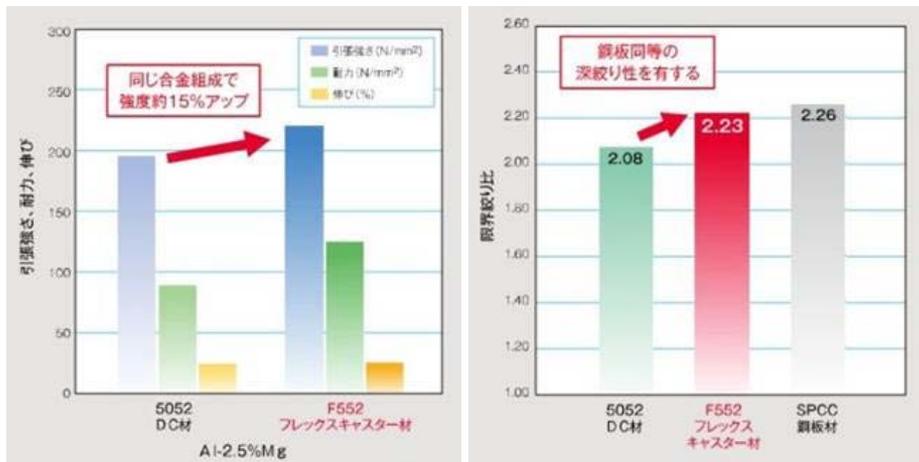
溶湯から直接コイルに成形 新たなアルミ板の提案



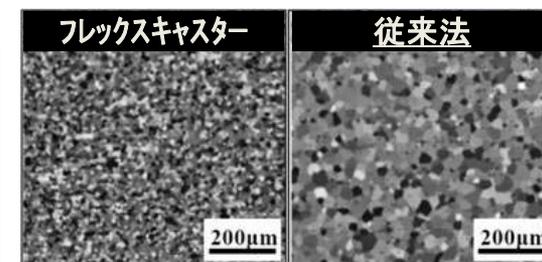
◇特長

- ・面削、均質化、熱間圧延不要
- ・成形性、強度特性が向上
- ・**40 μm の薄肉材が製造可能**

高強度と深絞り性を実現



成形品の例



組織比較拡大写真

アルソル・アルソルメガ

7社連携開発

日本軽金属

解析設計技術

日軽金ア外

押出・製品化技術

理研軽金属工業

日軽形材

エヌ・エル・エム・エカル

日軽産業

住軽日軽エンジニアリング

施工性に優れた ソーラーパネル架台システム

◇特長

施工性

+

最適化
設計

+

超軽量

+

高耐食
耐候性

+

高強度

+

美観
意匠性

- ・現場ニーズに対応した最適化設計
- ・軽量化&ユニット化で工期短縮、安全性向上
- ・コンクリート基礎、スパイラル杭基礎にフレキシブル対応



道路橋床版

4社連携開発

日本軽金属

解析設計技術

住軽日軽エンジニアリング

日軽金ア外

FSW・押出技術

マーケットルート

日軽産業

施工技術

軽量 & 施工性良好な アルミ製道路橋床版

◇特長

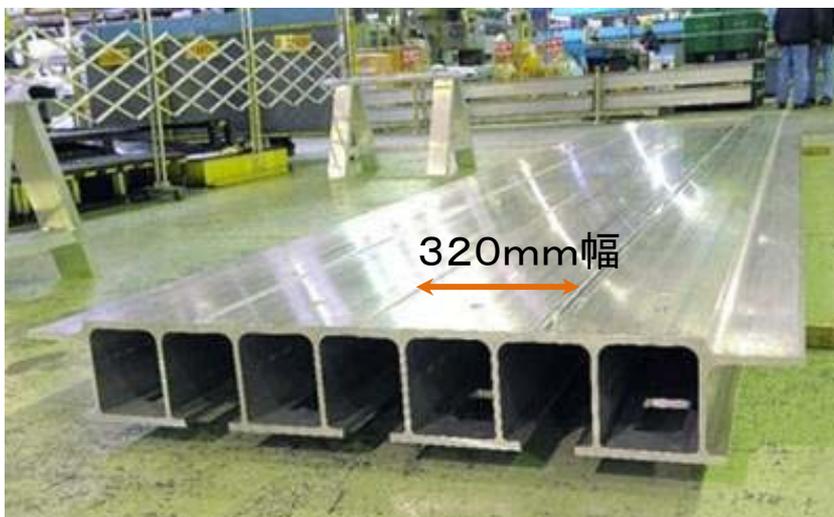
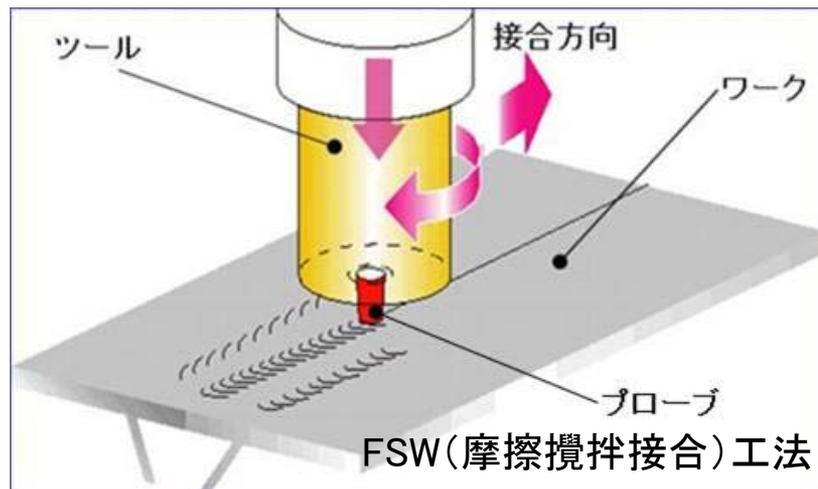
・高強度

大型押出材をFSWで接合一体化

・軽量

重量はコンクリート製床版の1/5

・高耐食性



耐震天井『NEQRES[®]』 ※Nikkei Earthquake RESistant System

2社連携開発

日軽パネルシステム

パネル構造技術

耐震・制震技術

日本軽金属

解析設計技術

大規模空間での 天井崩落防止を提案

◇特長

- ・改正建築基準法施行令に合わせた耐震設計容易なパネル仕様の耐震天井
- ・お客様のニーズに合わせて天井、壁、床すべてを一括設計・製造・施工
- ・大地震被害を最小限にとどめ、貴重な生命財産を守ることに貢献

HAタイプ

(High Aseismic Type)

▶ 高度な耐震性

▶ 国土交通省の技術基準における2.2Gに対応



耐震天井『NEQRES[®]』の構造概要

水冷デバイス

3社連携開発

日本軽金属

解析設計技術・素材技術

日軽金ア外

日軽熱交

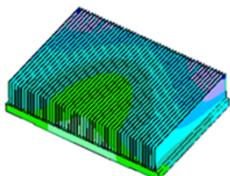
ロウ付、熱交製品技術

高アスペクト比 大型アルミヒートシンク

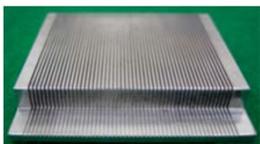
素材技術



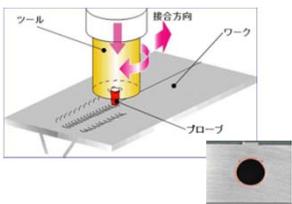
熱解析技術



押出技術



FSW技術



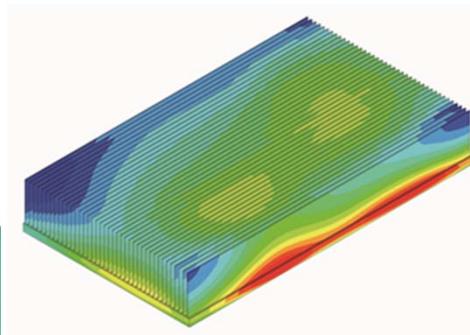
◇特長

※アスペクト比⇒矩形における縦と横の比

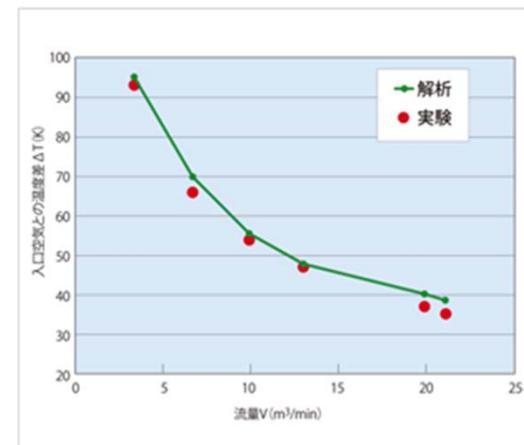
- ・高アスペクト比のフィン形状(全高150mm程度まで可)
- ・ロウ付け工法と比較し材料強度UP
- ・カシメ工法と比較し耐振動性UP
- ・実体性能に極めて近い熱解析結果



高アスペクト比フィン形状例



熱解析と実験値の比較例



データセンター用アルミ製二重床

3社連携開発

日本軽金属

解析設計技術

日軽金ア外

押出・製品化技術

日軽産業

施工技術

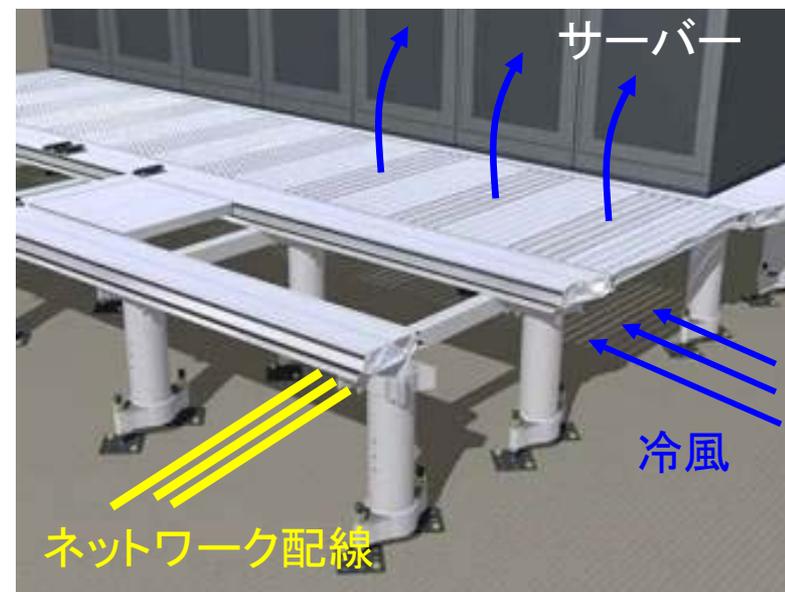
多様な機器の固定が可能な アルミ製二重床

◇特長

- ・耐震性能と軽量化を両立
- ・軽量化による良好な施工性
- ・お客様ニーズに合わせた最適提案



地震力を模した静的加力
試験の様子



床下空間の活用

- ① ネットワーク配線敷設
- ② サーバーへ冷気送風

チーム日軽金として「異次元の素材メーカー」へ

1. アルミに関する広範な事業領域と技術習熟
2. ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営
(縦串・横串のマトリクス組織)
3. 日本企業特有の「おもいやり」文化 (きめ細かいニーズ探索力と対応力)
を強みとし、

「単純な素材メーカー」ではなく、
お客様の顕在的・潜在的「欲しい」を満足する
複合的でかつお客様に「喜び」を与える商品
を作ることにより、成長を続ける企業体

= お客様に信頼され、選んでいただける企業体



チーム日軽金として、異次元の素材メーカーへ

補足資料

第2四半期決算 — 期初予想比

(億円)

	2015/4-9 実績	2015/4-9 期初予想	増減
売上高	2,297	2,250	+47 (+2.1%)
営業利益	125	105	+20 (+19.1%)
経常利益	111	95	+16 (+16.8%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	68	55	+13 (+23.0%)

2015年度 第2四半期決算 経常利益

(億円)

	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	前年同期比	2015/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	111	82	+29	95	+16

(億円)

前年同期比 +29億円 の内訳

営業利益の増加	+45
持分法投資利益の減少	△4
その他	△12

(億円)

期初予想比 +16億円 の内訳

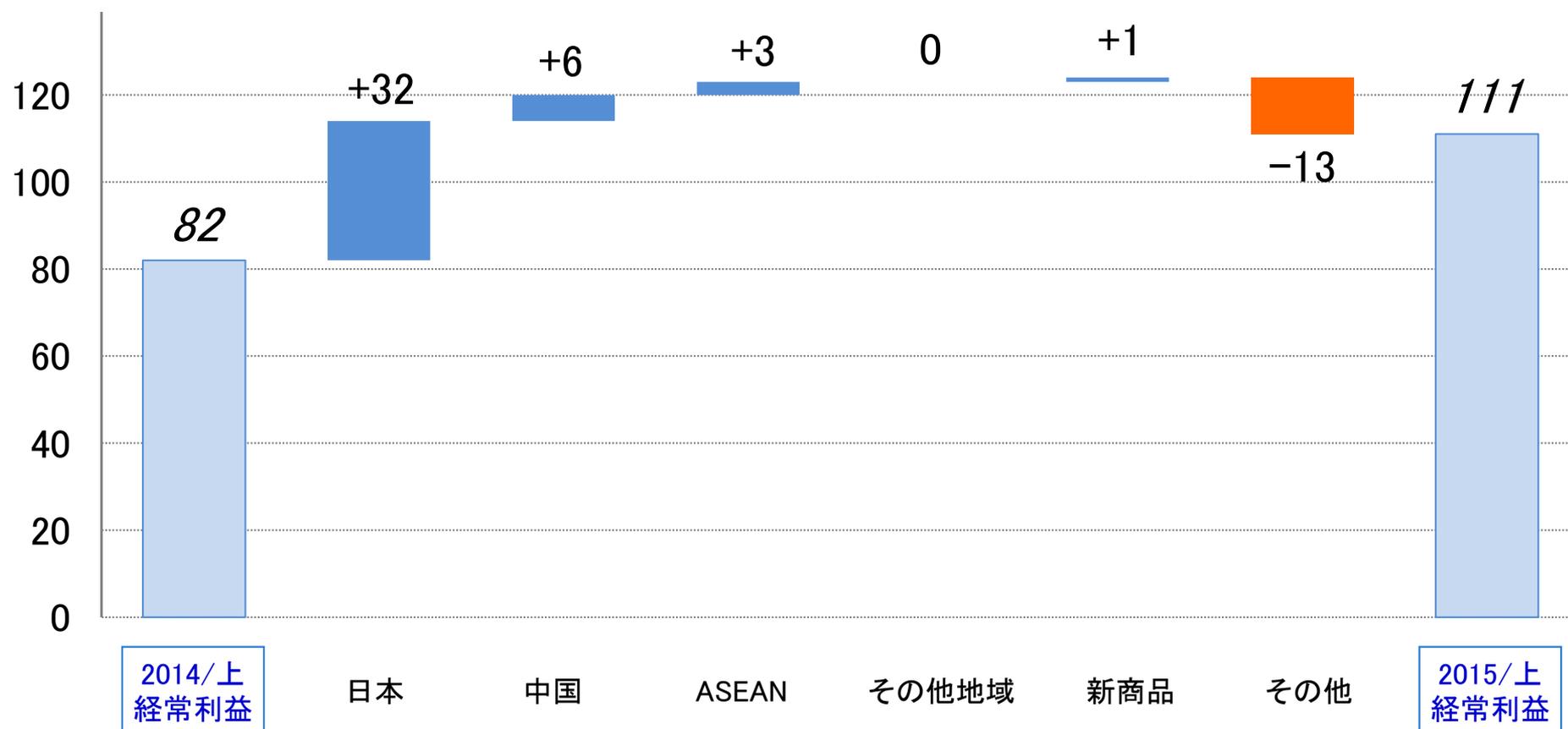
営業利益の増加	+20
持分法投資利益の増加	+2
その他	△6

経常利益変化要因 — 前年同期比

2014年度 第2四半期 +82億円

⇒ 2015年度 第2四半期 +111億円 29億円増加

(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	前年同期比	2015/4-9 期初予想	期初予想比
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	68	58	+10	55	+13

(億円)

前年同期比 +10億円 の内訳

経常利益の増加	+29
特別利益の減少	△14
特別損失の減少	+2
税金費用の増加	△6
少数株主損益の増加	△1

(億円)

期初予想比 +13億円 の内訳

経常利益の増加	+16
特別損失の増加	△3
税金費用の増加	△2
少数株主損益の減少	+2

2015年度 第2四半期決算 キャッシュ・フロー計算書

2015年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 159億円 (※1) 税引き前利益 108 減価償却費 81 運転資金 2 法人税等 Δ 14 他	設備投資等 101億円 資金調達 186億円 (長期借入金)
	約定弁済等 166億円
	配当金支払い 32億円
	現金・同等物の増加 46億円

2014年度 第2四半期

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※2) 83億円	固定資産の取得支出等 36億円
資金調達 44億円 長期借入金 44億円	約定弁済等 170億円
現金・同等物の減少 105億円	
	配当金支払い 26億円

(※2)
 税引前当期純利益 91
 減価償却費 80
 運転資金 Δ 66
 法人税等 Δ 22

設備投資・減価償却費 — 前年同期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	差異	2015/4-9 実績	2014/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	11	9	+2	18	22	△4
板、押出製品	30	22	+8	25	20	+5
加工製品、関連事業	22	13	+9	18	17	+1
箔、粉末製品	21	12	+9	20	21	△1
合計	84	56	+28	81	80	+1

通期業績予想 — 期初予想比

(億円)

	2015年度 予想 (10/30)	2015年度 期初予想	増減
売上高	4,550	4,600	△50 (△1.1%)
営業利益	240	225	+15 (+6.7%)
経常利益	220	210	+10 (+4.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	130	130	0
有利子負債	1,880	1,880	0
ネットD/Eレシオ	1.2倍	1.2倍	0.0p

セグメント情報 — 期初予想比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2015年度 予想 (10/30)	2015年度 期初予想	増減	2015年度 予想 (10/30)	2015年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,100	1,180	△80 (△6.8%)	80	75	+5 (+6.7%)
板、押出製品	1,050	1,010	+40 (+4.0%)	40	50	△10 (△20.0%)
加工製品、 関連事業	1,410	1,400	+10 (+0.7%)	90	80	+10 (+12.5%)
箔、粉末製品	990	1,010	△20 (△2.0%)	60	50	+10 (+20.0%)
管理・共通	—	—	—	△30	△30	—
合 計	4,550	4,600	△50 (△1.1%)	240	225	+15 (+6.7%)

主要会社の業績予想 — 前期比

(億円)

	2015年度 予想			2014年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,345	21	39	1,346	11	40
東洋アルミニウム (連結)	999	59	56	968	41	43
日軽エムシーアルミ (連結)	629	17	15	604	14	11
日本フルーフ (連結)	589	27	25	567	22	21
日軽金アクト (連結)	446	17	20	389	21	23

主要会社の業績予想 — 期初予想比

(億円)

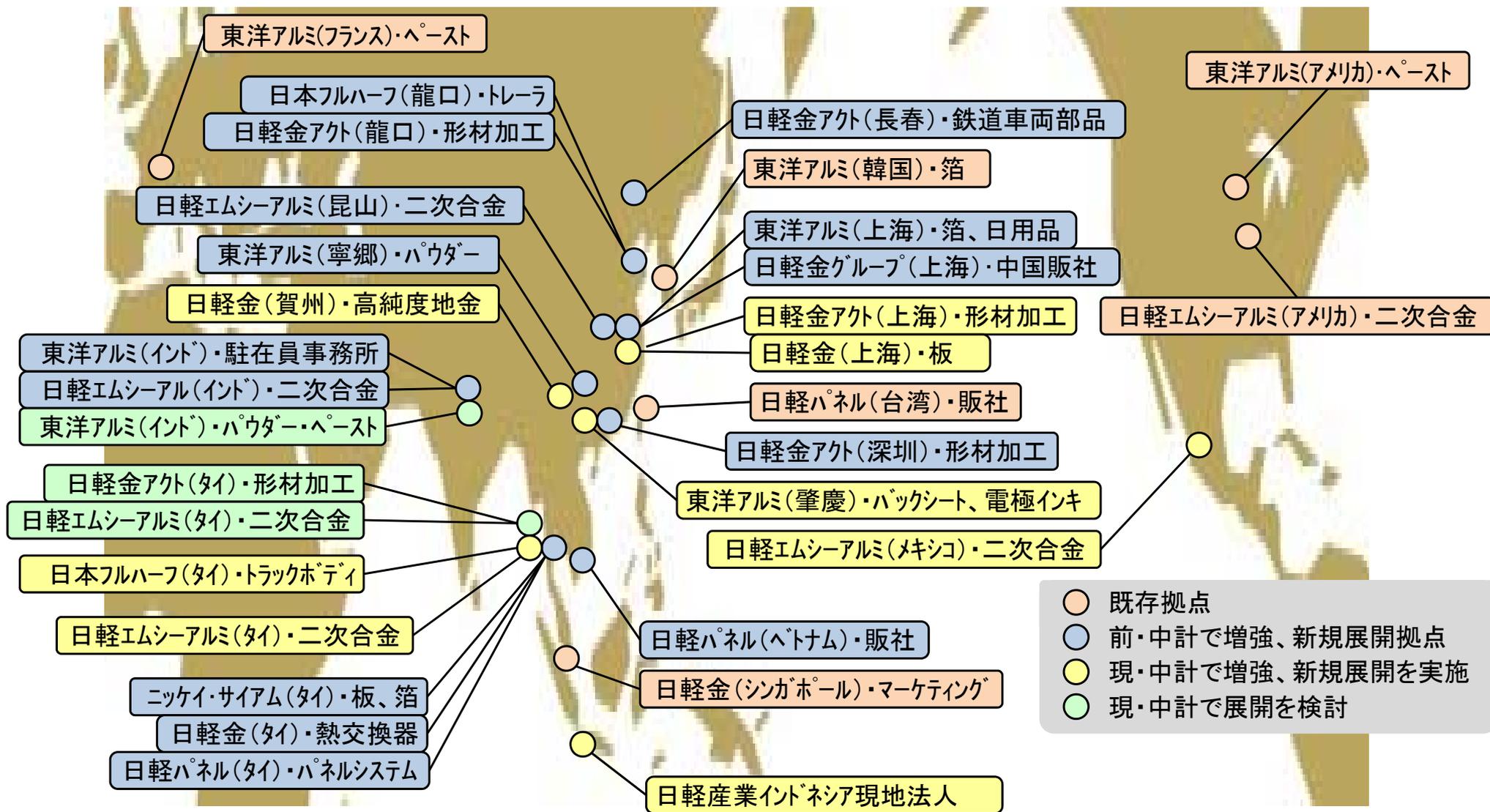
	2015年度 予想			2015年度 期初予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,345	21	39	1,422	25	41
東洋アルミニウム (連結)	999	59	56	1,011	49	47
日軽エムシーアルミ (連結)	629	17	15	673	12	11
日本フルハーフ (連結)	589	27	25	560	25	25
日軽金アクト (連結)	446	17	20	438	16	20

設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2015年度 予想(10/30)	2014年度 実績	差異	2015年度 予想(10/30)	2014年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	44	35	+9	36	43	△7
板、押出製品	75	53	+22	47	40	+7
加工製品、関連事業	51	36	+15	38	38	0
箔、粉末製品	42	35	+7	47	43	+4
合計	212	159	+53	168	164	+4

海外展開



アルミにこだわり、 アルミを超えていく



本資料についての注意事項

1. 本資料は2016年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。